

日本の食の近未来

熊倉 功夫 編

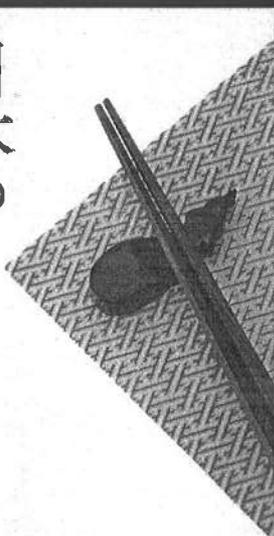
2013年3月刊行

▶四六判・256頁・定価 2,415円 (税5%込)

ISBN978-4-7842-1678-9

日本の食の近未来

熊倉功夫 編



2011年の東日本大震災で、世界的に美談として語られたのは、略奪行為を行わない日本人の姿だった。その要因は様々に考えられるが、その一つとしてあげられるのは、生活の豊かさであり、その典型が「食」である。飽食の時代と言われる現代日本において、「食の豊かさ」は今後何をもたらすのか？謳歌するだけでよいのか？本書は、このような日本の現代に疑問を感じた8名の研究者が、食文化の近未来について共同研究会を行った成果である。

◎ 内容目次 ◎

高齢者と食の満足

—韓国の高齢者福祉施設を例に—
守屋亜記子 (女子栄養大学准教授)

調査及び調査対象施設概要／韓国の食文化／施設生活における食事の時間／施設食の特徴／日常の食と特別な日の食／食べ手による施設食の取り込み方／自律的な食

鼻で食べることと目で食べること

シンシア・ネリ・ザヤス (フィリピン国立大学教授)

鼻で食べる人々と目で食べる人々／見る習慣と香りを嗅ぐ習慣／自然のにおいを嗅ぐ／野生を飼いなす／大自然を食べることと大自然を再体験すること／結語：内なる自然と外なる自然—フィリピンの食と日本の食の関係—

国民食になった餃子—受容と発展をめぐって—

草野美保 ((財)味の素食の文化センター)

日本への餃子の伝来／新たな餃子の役割—ローカルな餃子と地域おこし—／海外における日本の餃子

食生活の変遷からみた日本の食の

来し方行く末

米屋武文 (静岡文化芸術大学教授)

わが国の食の変遷／食を取り巻く諸問題／近未来の日本人の食を考える

日本の伝統的食文化としての和食の 熊倉功夫 (静岡文化芸術大学学長) 行方

日本の食文化を歴史で区切る／和食と一汁三菜／和食の構造／和食の未来

日本における家族の変化と食生活

林 在圭 (静岡文化芸術大学教授)

家制度／家 (家族) の生活／近代家族／現代家族における日常食

食空間と将来

深田てるみ (静岡文化芸術大学准教授)

住まいの変遷と食空間／近代の住宅と食空間／現代における食空間に関する調査／現在における食空間とその課題

「食のとらえ方」のパラダイムシフトを求めて

—アール・キュルヴェーダを照射版として—

清 ルミ (常葉学園大学教授)

「食のとらえ方」の現状／提言—別のモノサシを持つ—／「楽しさ」と「愛情」の伝播

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)			
冊数	冊	日本の食の近未来	本体2,300円(税別)	ISBN978-4-7842-1678-9			
お名前	tel						
	e-mail						
ご住所	〒						
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)						
			本書HPのQRコード	書店番線印			